

スマート技術を組み合わせ宇治茶生産の作業性を大幅にアップ

山城地域のてん茶生産の法人経営において、省力化効果の高いスマート技術を組み合わせ実証したところ、経営主の年作業時間をトータルで25%削減できました。

背景

- ・近年、府内茶生産者1人あたりの生産面積は拡大しており、茶業経営が大規模化。
- ・てん茶の栽培管理は品質や収量に大きく影響するため、熟練者である経営主にしかできない作業が多く、規模拡大の障壁となっている。

課題等

- ・経営主の作業を省力化する技術や、非熟練者でも経営主とそん色ない作業が可能になる技術の開発・実証が求められている。

● 4つのスマート技術を実証し、経営主の作業時間の削減効果を実証

経営主の年間作業時間 25%(*398時間) を削減 ※実証農家年間作業時間1593時間(製茶時間除く)の25%



- ・作業時間の削減を実感。
- ・規模拡大や後継者育成に大変有意義。
- ・自身の経営に合った技術を選んで、導入していきたい。

実証農家の声

① 茶生育等予測マッピングシステム

茶園ごとに降霜、生育、害虫の発生時期を予測

② 傾斜地リモートセンシング

定点カメラとドローンで離れた場所から茶園の様子を確認

①②の成果

< 茶期 (3~7月) >

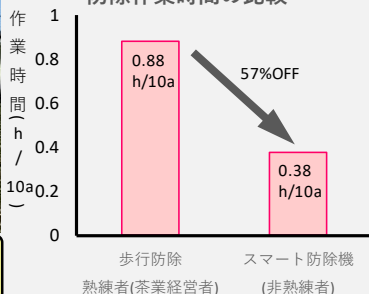
- ▶ 経営主の圃場確認時間を6%減

< 非茶期 (7~12月、1~2月) >

- ▶ 経営主の圃場確認時間を75%減

③ 乗用型散布量自動調整防除機

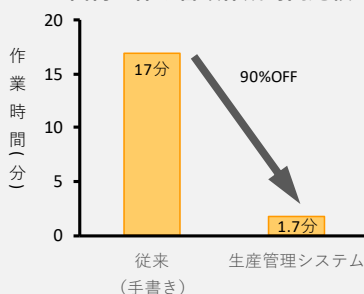
防除作業時間の比較



非熟練者でも、正確な薬剤散布が可能

④ 生産管理システム

出荷に係る書類作成時間比較



栽培管理データの電子化で出荷書類を簡単に作成

農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」

コンソーシアム：府、(有)北本製茶園(南山城村)、茶業団体、全農京都、農研機構、メーカー

研究成果

- ①②：マッピングシステム、リモートセンシングにより茶園巡回時間を削減。
- ③：スマート防除機により非熟練者でも設定通りの防除が可能になり、作業時間も大幅に短縮。
- ④：生産管理システムによる栽培管理データの電子化で、生産履歴作成を省力化。
- ・以上4つのスマート技術により、経営主の作業時間を大幅に削減。

今後の展開

産地や生産者のニーズに応じたスマート技術導入を支援するとともに、システム同士のデータ連携を進めるなど、省力的な高品質茶生産と規模拡大を推進します。